

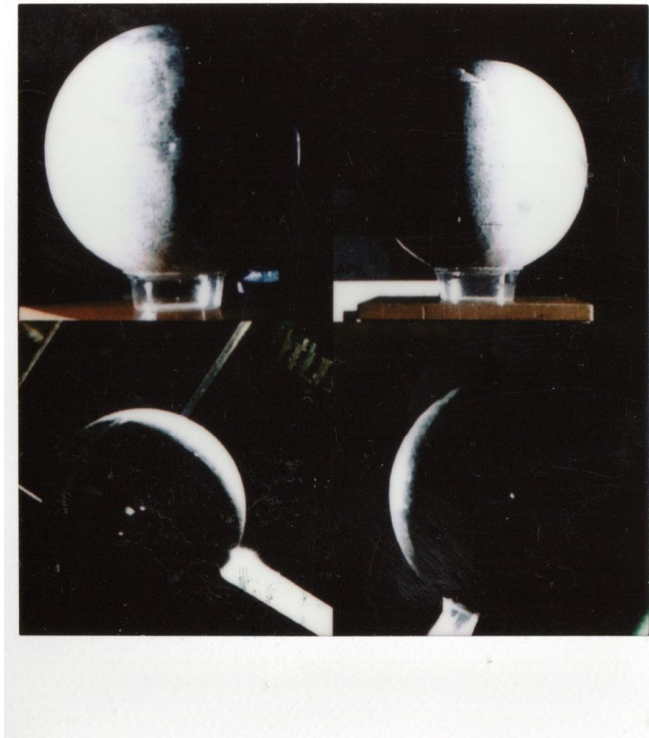
「チェキで”月”を撮る(5)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

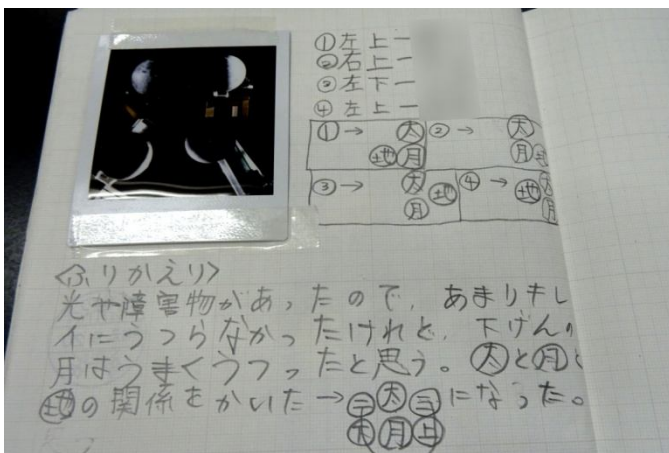
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

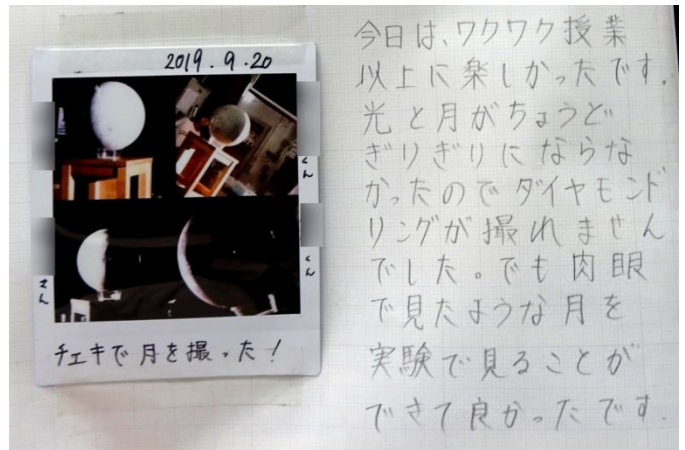
インスタントカメラ「デジタル・チェキ」は、フィルムのコストは高いが、授業ではさまざまな場面で役立つ。ここぞという場面で活用したい機器だ。



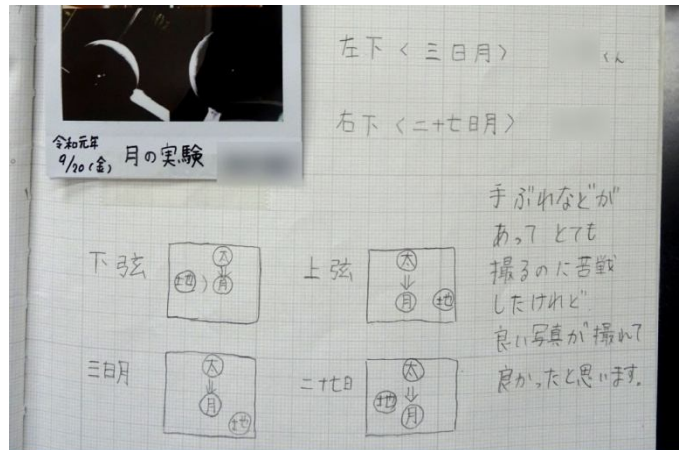
チェキのプリントサイズは、縦9cm、横7cmで、ノートに貼るにはちょうど良い。



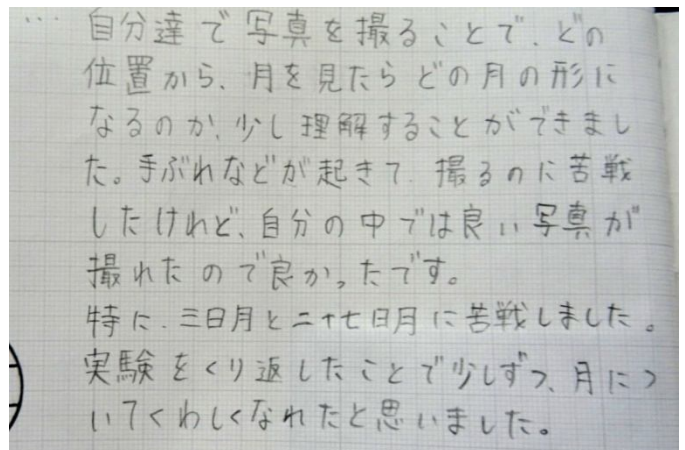
子どもたちは、自分で撮って、自分でプリントした写真をノートに貼り、その説明や「ふり返り」を記入していた。このノートの例では太陽・月・地球の位置関係を、簡単な図で示している。



「ワクワク授業」というのは、朝に「学年掲示板」(ホワイトボード)に「予告」しておいた名称だ。「それ以上に楽しかった」というのは、実に嬉しいことだ。日食の時の「ダイヤモンドリング」を撮ろうと努力していたようだ。



このノートでも、それぞれの写真の「太陽・月・地球」の位置関係を図示している。特に「三日月」や「二十七日」での位置関係が正確に図示されているのが素晴らしい。



この「ふり返り」は、今回の学習のまとめがよく書かれている。天球上の月ではないが、天体の位置関係と月の形の見え方を、少しは実感できたようだ。